

胎内市立中条小学校つばさっ子秋祭りにて 木工教室を実施

平成28年10月22日(土)、胎内市立中条小学校が「つばさっ子秋祭り」を開催しました。この秋祭りでは、全体で29講座の出前教室が行われ、下越森林管理署は「木工教室」を実施しました。

木工教室には中条小学校1～3年生8名が参加し、木の枝や木の実(ドングリ、クルミ、マツカサなど)を使った作品づくり、しおりづくり、丸太切り及び丸太を生かした作品づくりを体験してもらいました。



木工教室の様子。



木の枝を使った鉛筆づくり。
器用にナイフやドリルを
使って鉛筆を作ります。



グルーガン(樹脂を溶かして
使う)で木の実などをくっ
つけます。



しおりづくりの様子。
好きな形や色の葉や花を台紙に載せて作ります。



丸太切りの様子。
大変な作業ですが、最後まで丸太を切ることができました。切った丸太は作品作りに活用されました。



完成した作品の一部です。参加した小学生の自由な発想に驚かされました。後日届いたお礼の手紙から、「木を切るのが難しかった」、「木に目や色をつけるのが楽しかった」、「たくさんの作品を作れて楽しかった」などの感想をいただきました。